

# JICAコンサルタント等契約における 総合評価落札方式の試行 ～一般競争入札は本当に有効か？～

平成25年6月21日

独立行政法人国際協力機構  
調達部契約企画課  
足立佳菜子

1

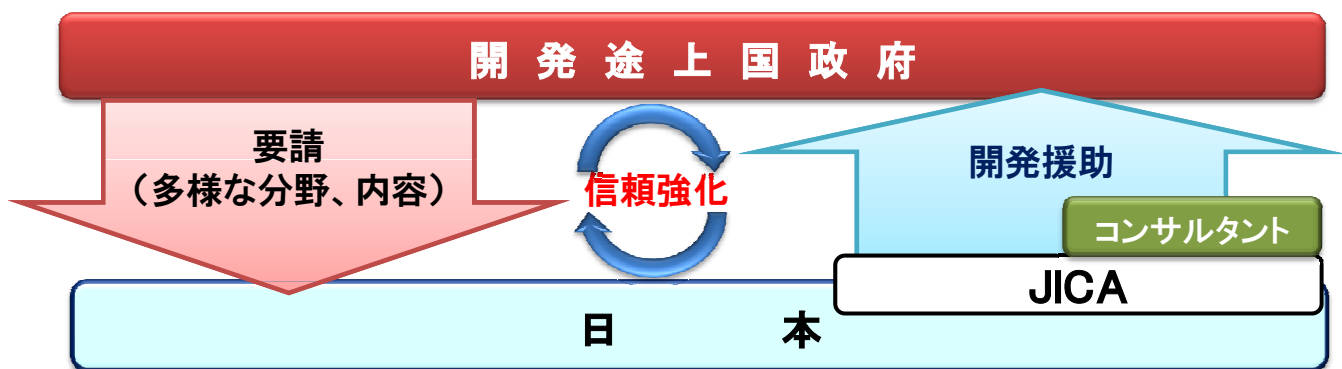
## 資料の構成

1. JICAコンサルタント等契約の特徴
2. 総合評価落札方式試行の背景
3. 国内公共事業とJICAコンサルタント等契約における総合評価落札方式の比較
4. JICAコンサルタント等契約における総合評価落札方式の試行

2

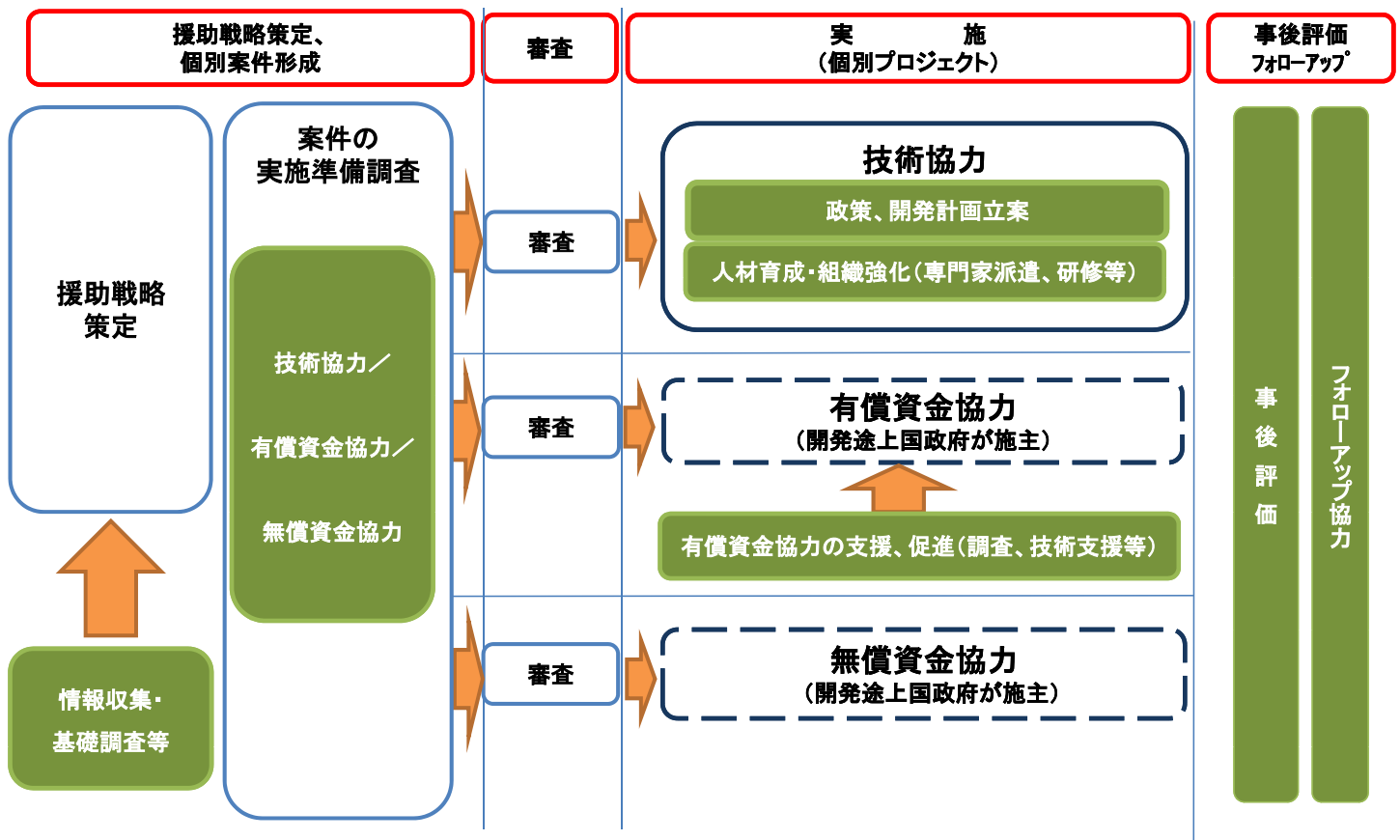
# 1. JICAコンサルタント等契約の特徴

- JICAは世界の約150か国において開発途上国政府等からの要請に基づき、開発援助(技術協力(1,889億円)、有償資金協力(6,097億円(年度内実行額))、無償資金協力(1,076億円(承諾額))、いずれも2011年度実績)を実施。
- 途上国の要請は、環境、教育、保健医療、農林水産、鉱工業、運輸交通、エネルギー、行財政、防災等、多岐に亘る。内容も政策・開発計画策定支援、人材育成、組織強化、実証調査等、様々。途上国との関係強化のためには、質の高い協力実施、途上国の状況変化に応じた柔軟な協力が不可欠。
- コンサルタントは開発援助の準備調査、開発計画立案支援、技術協力の実施、資金協力の実施支援、事後評価、フォローアップなど、援助の各段階における高度で専門的な業務を請け負って実施。



3

## コンサルタントを活用する業務



## 2. 総合評価落札方式試行の背景

### 【閣議決定】(平成22年12月7日)

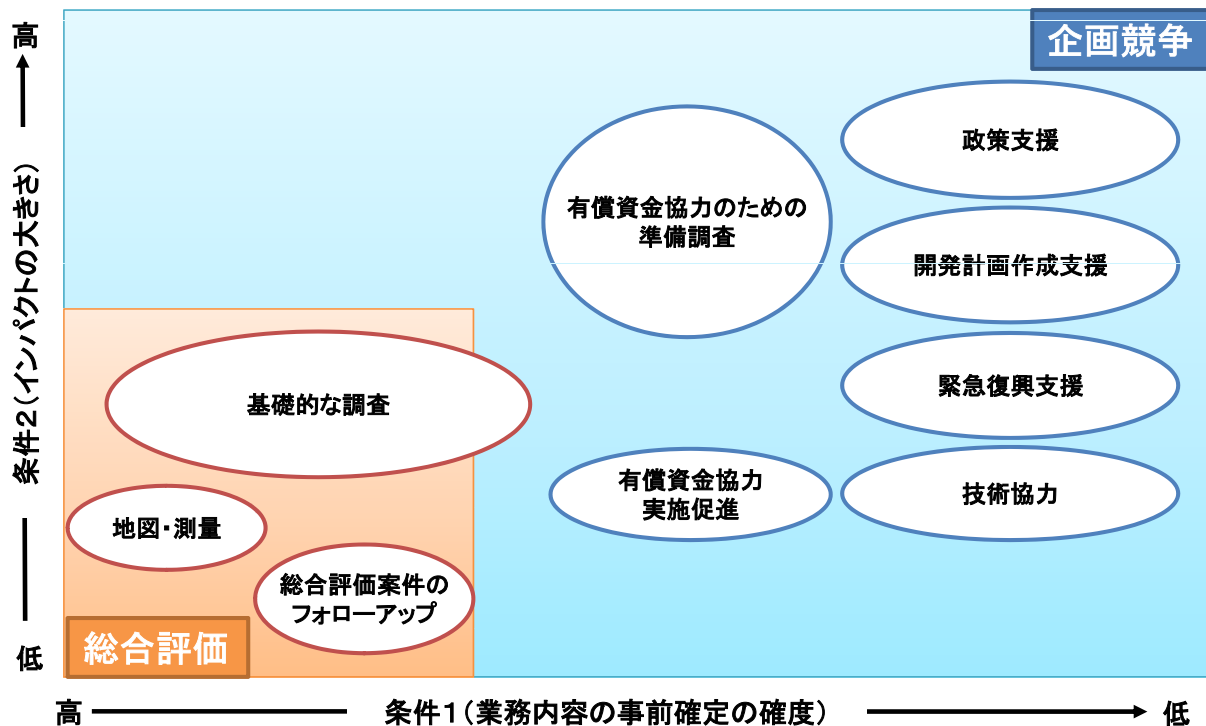
「技術協力プロジェクト、開発計画調査型技術協力及び協力準備調査の契約については、企画競争(プロポーザル方式)の方法により発注されているが、**より競争性・公正性を高めるため**、関心表明書の提出等の手続について廃止を含めて見直すとともに、**質の確保に留意しつつ、可能な限り一般競争入札の方法により実施する。**」

### 【JICAにおける総合評価落札方式導入に関する基本的な考え方】

- 被援助国側との綿密なコミュニケーションのもと、信頼を醸成しながら実施することが求められる業務であることから、実施体制や提案を含む作業方針・手順の確認が不可避であり、価格競争による選定は困難。技術の評価も含めた総合評価落札方式を試行導入することとした。
- 総合評価落札方式の導入が競争性の向上にどのようなインパクトを与えるのかは予見不能。負のインパクトが生じる可能性も大。このため、導入対象を慎重に検討し、試行期間を設定し、モニタリング・改善を行うこととした。
- 総合評価落札方式の試行対象は、業務内容の事前確定の確度の高い業務として、  
①入札説明書の内容の解釈が応札者により大きく異なる定型的な業務、  
②精度の高い予定価格が設定できる業務、の2条件を満足するものとした。

5

## コンサルタント等業務における対象分類(イメージ)



- 総合評価の対象は、業務内容の事前確定の確度の高い業務として、①業務指示書の内容の解釈が応札者により大きく異なる定型的な業務、②精度の高い予定価格が設定できる業務、の2条件を満足するものを想定。
- 企画競争の対象は、①業務内容(TOR)、業務方法の詳細を事前に確定することが困難な業務、②関連する事業へのインパクトが大きく、業務の質を最優先すべき事情のある業務、③日本の支援に優位性のある分野において協力を求められている業務。

6

### 3. 国内公共事業とJICAコンサルタント等契約における 総合評価落札方式の比較

	国内公共事業	JICAコンサルタント等契約
実施場所	日本	途上国
対応できる社	多い	限定的
選定方法の 変化	<b>価格競争→総合評価</b> 価格重視から技術をより 評価する方向へ。	<b>企画競争→総合評価</b> 技術力重視から価格をより 評価する方向へ。
事業内容	比較的 <b>共通性が高い</b> 。 →歩掛があり、それを用 いた事業費の積算が可 能。	<b>多様</b> 。国による違いが大。 →歩掛等の共通的な基準 を用いた現地事業費積算 は困難。案件ごとに当該国 の実情を踏まえた積算が 必要。

7

### 4. JICAコンサルタント等契約における 総合評価落札方式の試行

#### 【制度概要】

#### ● 評価方法:

- **技術点:価格点=8:2**

(企画競争では技術点差が2.5%以内の場合のみ価格加味)

- 評価は**相対評価**←技術点の差を広げるため

技術点=80点×(入札者の技術点/全入札者のうちの最高技術点)

価格点=20点×(全入札者のうちの最安入札価格/入札者の入札価格)

#### ● 低入札価格調査制度

予定価格の6割を下回る入札価格の場合、業務が適切に実施できるか調査を行う。調査結果に応じ、当該入札者を落札者とししない。

#### ● 積算・精算

- 見積条件、想定業務量、格付を具体的に提示。
- 変動要素が少ない場合はランプサム契約(精算不要)、ある程度の変動要素がある場合は単価・数量を確認し、精算。

8

## 総合評価落札方式 試行案件

	案件名	合計 人月	進捗	入札図書 配布数	応札者数	落札率 (%)
1	ギニア国コナクリ都市圏大縮尺地形図作成 プロジェクト	13.01	契約済	5	1	98.8%
2	モンゴル国第2次初等教育施設整備計画 フォローアップ協力	4.09	契約済	2	2	74.4%
3	平成24年度課題別研修事後評価調査・現況調査	10.8	終了	5	2	88.8%
4	平成24年度円借款事業(特別円借款・STEP)施工 安全確認調査	3.7	応札者0、 分割して 企画競争	1	0	—
5	平成24年度貧困プロフィール作成	10.8	終了	5	1	97.6%
6	アフガニスタン国未来への架け橋・中核人材育成 プロジェクト	141	契約済	4	1	93.5%
7	カンボジア国全国道路網整備計画に係る 基礎情報調査	8	終了	6	2	62.1%
8	マレーシア国高齢化に係る情報収集・確認調査	8.4	契約済	5	1	92.8%
9	東ティモール国道路構造状況診断情報収集・確認 調査	8.6	契約済	6	2	61.6%
10	パプア・ニューギニア国生物多様性保全基礎情報 収集・確認調査	2.4	契約済	13	5	89.3%

9

## 総合評価落札方式 試行案件

	案件名	合計 人月	進捗	入札図書 配布数	応札者数	落札率 (%)
11	キルギス国オシュ・ジャラルバード州道路維持管 理機材整備計画	9.89	入札済	4	1	69.9%
12	コロンビア国防災分野情報収集・確認調査	9.52	入札済	10	3	77.0%
13	カンボジア国人材育成奨学計画準備調査	2.66	入札済	7	2	
14	スリランカ国人材育成奨学計画準備調査	2.61	入札済	4	2	
15	ベトナム国人材育成奨学計画準備調査	2.66	公示中			
16	バングラデシュ国人材育成奨学計画準備調査	2.62	公示中			

入札済み14件中6件が1社もしくは0社応札。

10

# 総合評価落札方式 試行案件 評価結果

	案件名		技術点 (提案書評点)	価格点	総合点	価格 (千円)
1	ギニア国コナクリ都市圏大縮尺地形図作成プロジェクト	A社	80 (80.85)	20	100	280,000
2	モンゴル国第2次初等教育施設整備計画フォローアップ協力	A社	80 (81.93)	20	100	10,466
		B社	79.87 (81.80)	16.7	96.57	12,535
		差(A-B)	0.13 (0.13)	3.3	3.43	-2,069
3	平成24年度課題別研修事後評価調査・現況調査	A社	80 (73.00)	20	100	26,130
		B社	— (82.38)	失格	—	29,900
		差(A-B)	— (-9.38)	—	—	-3,770
4	平成24年度円借款事業(特別円借款・STEP)施工安全確認調査	—	—	—	—	—
5	平成24年度貧困プロフィール作成	A社	80 (78.60)	20	100	23,097
6	アフガニスタン国未来への架け橋・中核人材育成プロジェクト	A社	80 (84.90)	20	100	740,652
7	カンボジア国全国道路網整備計画に係る基礎情報調査	A社	78.34 (82.48)	20	98.34	16,435
		B社	80 (84.23)	15.51	95.51	21,194
		差(A-B)	-1.66 (-1.75)	4.49	2.83	-4,759

\* 赤字の案件は価格による逆転があったもの。

11

# 総合評価落札方式 試行案件 評価結果

	案件名		技術点 (提案書評点)	価格点	総合点	価格 (千円)
8	マレーシア国高齢化に係る情報収集・確認調査	A社	80 (82.20)	20	100	21,500
9	東ティモール国道路構造状況診断情報収集・確認調査	A社	76.50 (77.44)	20	96.50	18,950
		B社	80 (80.98)	14.00	94.00	27,063
		差(A-B)	-3.50 (-3.54)	6.00	2.5	-8,113
10	パプア・ニューギニア国生物多様性保全基礎情報収集・確認調査	A社	80 (80.88)	20	100	8,284
		B社	78.91 (79.78)	18.04	96.95	9,183
		C社	76.54 (77.38)	19.51	96.05	8,493
		D社	71.96 (72.75)	19.32	91.28	8,575
		E社	76.79 (77.63)	失格	失格	11,650
		差(A-B)	1.09 (1.1)	1.96	3.05	-899
11	キルギス国オシュ・ジャラルアバド州道路維持管理機材整備計画	A社	80 (81.02)	20	100	31,975
12	コロンビア国防災分野情報収集・確認調査	A社	80 (80.68)	19.92	99.92	28,503
		B社	78.25 (78.92)	20	98.25	28,395
		C社	77.22 (77.88)	19.76	96.98	28,744
		D社	基準下	—	—	—
		差(A-B)	1.75 (1.76)	-0.08	1.67	108

12



## (1) 入札説明書を入手したが応募しなかった者へのアンケート結果

### 【応募しなかった主な理由】

- ①業務従事者(特に総括)の配置困難
  - ②共同企業体の結成困難
  - ③業務内容が想定と相違
  - ④先行者がいて先行者が有利
  - ⑤**価格競争で不利**
  - ⑥積算が困難(番号6)
- } 企画競争と共通の理由
- ①～④は**企画競争と共通**。総合評価では、価格に関する理由が増加(例:価格で競争困難と判断して応募断念)。
  - **価格競争を考慮すると、よりよい提案がしにくい、という声あり。**

## (2) 応札者へのアンケート結果

- 入札説明書の内容は十分明確で、企画競争と比較して問題なし。
- **価格**に関する主なコメント。
  - **価格を下げる必要がある一方、実施に支障をきたさない配慮も必要**で、価格をどの程度下げるべきか悩んだ(複数回答)。(例:価格を下げるために調査先を減らすと、調査の質が下がる。)
  - **価格を下げるために効率性を犠牲にする**場合がある(例:車両2台で別々に回れば効率的に調査できるが、価格を下げるために1台にする)。
  - 治安の悪い国でも**価格競争のため安全管理に係る経費を計上できず**。
  - **航空賃は別見積かルート指定すべき**。直行便は安いが週1便しかなく、日程的柔軟性が確保できない。航空賃を価格競争の対象とすべきではない。
  - 国内の総合評価では入札価格の下限(予定価格の70%)が設定されているが、JICAの総合評価では下限の設定がなく、**ダンピングの恐れ**がある。
  - 準備調査など次につながる調査では、次の案件を取るために大手会社は赤字覚悟で価格を下げて応札する恐れがあり、**中小会社は値下げ競争に巻き込まれると経営的に苦しい**。

## (2) 応札者へのアンケート結果(続き)

### ● 精算に関する主なコメント

- 精算に関する作業負担がほとんどなく、報告書の執筆に集中でき、**大幅に効率化できた。**
- 精算に関する作業時間が1/3程度になった。

## (3) 総合評価に関するJICA担当部署コメント

- 価格逆転の結果、期待する成果より多少満足度は低くなったが、仕様書で定める業務範囲は履行された。
- 価格競争の部分が大きく、予算捻出効果がある。

# 総合評価落札方式 試行案件 考察

- 競争性は必ずしも向上せず(2012年度実績で**応募者1者以下が50%**。企画競争の業務実施契約では一者応募率53.3%)。
- **一者応募案件の8割で落札率が90%以上**。企画競争と比較すると価格は低下傾向だが、1者応募案件の価格は高止まり傾向。
- 2者以上の応募があった案件8件中、**価格による逆転3件**(番号3、7、9)、うち価格超過による**失格1件**(番号3)。
- 技術点の差は企画競争に比べて小さく、技術点より価格点の差が大きい傾向。
- **低入札価格調査を行った案件2件**(番号13、14)。
- 企画競争と比較して、**積算に必要な情報の明確化、精算方法の検討、予定価格設定に時間・労力を要している**。
- **コンサルタント側は価格に係る配慮が増大**。価格競争による体力低下の懸念、質や効率性の低下を心配する声も。
- 総合評価の試行対象として想定した基礎的な調査でも、協力計画策定等を含むため、総合評価にすることが困難な案件が多い。



# 総合評価落札方式試行 モニタリング項目

- 下記項目にて試行案件のモニタリングを継続し、課題、改善点を整理していく。

検証の視点	指標案、判断基準
<b>入札までの結果で確認</b>	
競争性	応札者数、一者応募率
仕様書、見積条件の適切さ	アンケート／ヒアリング結果 予定価格と落札価格の比較
予定価格の上限拘束性の弊害の有無	アンケート／ヒアリング結果 価格超過による失格、入札不調事例
ダンピングの有無	予定価格と落札価格の比較 価格による逆転落札した案件のレビュー
入札説明書、技術プロポーザル・見積作成にかかる 労力(企画競争との比較)	アンケート／ヒアリング結果
<b>業務の実施を通じてモニタリング</b>	
総合評価落札方式としての案件選定の妥当性	契約変更の有無、理由
精算の簡素化、適切性	精算方法、精算に要した時間
事業の質へのインパクト	実績評価結果 開発効果へのインパクト調査結果

17

## 今後に向けて

- 価格競争に偏らない工夫  
←より技術点差をつける評価を検討
- 予定価格の上限拘束性を緩和する方策の検討
- 低価格入札の場合の調査、判断
- 質やトータルコストのモニタリング
- 試行結果を踏まえた対象案件の精査

18